

平成 27 年度 研究成果報告書  
Research Achievement Report FY2015

Date:

言語社会専攻長

日本語・日本文化専攻長 殿

To Dean of Studies in Language and Society

To Dean of Studies in Japanese Language and Culture

講座名・職名 Course Title・Job Title	アジア I 講座・准教授
氏名 Name	林 初梅
専門分野 Academic Field	言語社会学

主たる研究テーマ Principal Research Subject	台湾における日本時代の記憶の語りに関する社会学的研究
<p>本年度は、研究代表者として進めている科研費研究(基盤研究(C))「記憶の装置としての学校—現代台湾における植民地記憶の語りに関する社会学的研究」の最終年度であった。</p> <p>その研究成果として、戦後の台湾において形成された日本イメージについて、以下の図書を三元社から刊行した。</p> <p>・所澤潤・林初梅編著『台湾のなかの日本記憶—戦後の「再会」による新たなイメージの構築』2016年3月、三元社。</p> <p>同書は、文学、歌謡、映画、看護婦、家屋、学校など様々な角度から、戦後台湾における「日本」記憶の様態と変容を探っている。</p> <p>そのほか、以下のように口頭報告、映画評論も行った。</p> <p>・(口頭発表)「1990年代の郷土教育にみる台湾人アイデンティティの変容」台友会(拓殖大学で開催)2015年6月</p> <p>・(映画評論)「魏徳聖の三部作『海角七号』『セデック・バレ』『KANO』を鑑賞して」『東方』408号、2015年2月、pp.2-6</p> <p>・(口頭発表)「現代台湾における植民地記憶が形成される土壌:日本人引揚者同窓会の戦後に注目して」第5回「現代台湾における植民地記憶の語りに関する研究」(大阪大学東京オフィス)、2015年2月</p>	